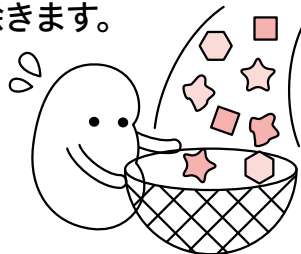
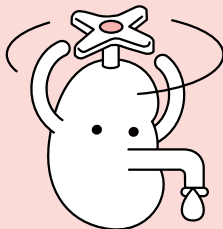


# 腎臓は働きもの

尿素やクレアチニンなどの老廃物を血液から取り除きます。



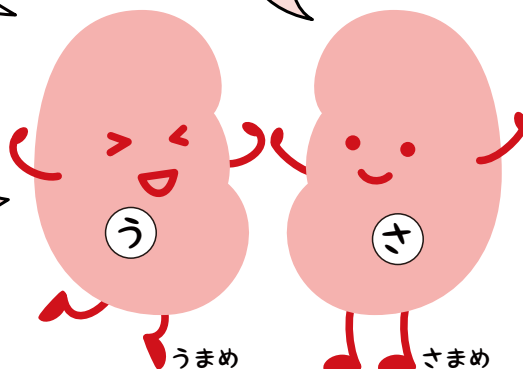
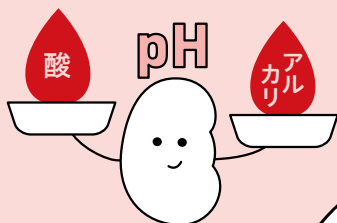
尿の増減で体の水分量を調整します。



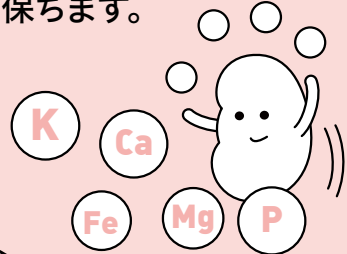
赤血球をつくるためのホルモンを分泌します。



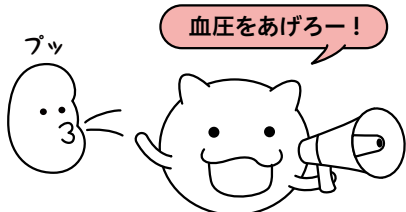
血液の酸性とアルカリ性の調整をしてバランスを保ちます。



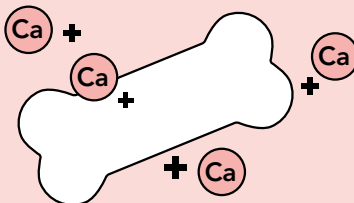
血液や体液に含まれるミネラルのバランスを保ちます。



血圧を上げるホルモン(レニン)を必要に応じて分泌します。



丈夫な骨をつくるため、カルシウムの吸収を高めるビタミンDを活性化します。



体の中で不要になった薬を尿から排泄します。

※全ての薬が腎臓で無毒化(代謝)されるわけではありません。



腎臓は、血圧をはじめとするあらゆる調整から血液や骨づくりなど、全身のために働いています。

監修

酒井 謙  
東邦大学医療センター 大森病院 副院長 腎センター 主任教授

濱崎 祐子  
東邦大学医療センター 大森病院 腎センター 教授

北島 幸枝  
日本腎栄養代謝研究会、東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授

坂本 杏子  
日本腎栄養代謝研究会、医療法人惺陽会 札幌ふしこ内科・透析クリニック 栄養部 部長



みんなで作ろう、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド

運営

一般社団法人  
ピーベック



<https://ppecc.jp/>

制作

腎臓病情報サイト  
「じんラボ」

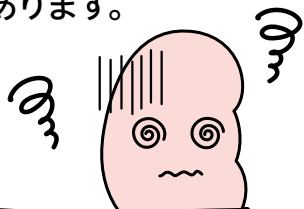
じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための

<https://jinlab.jp/>

# 働きものの腎臓が弱ると…

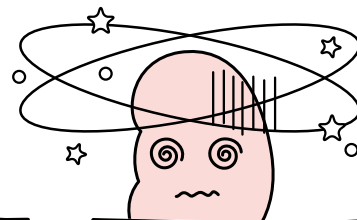
老廃物が体に溜まります。尿毒素としてさまざまな病状を引き起こすものがあります。



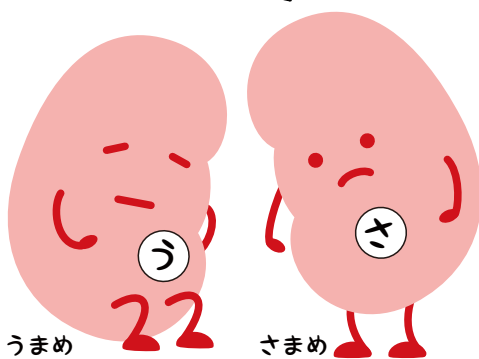
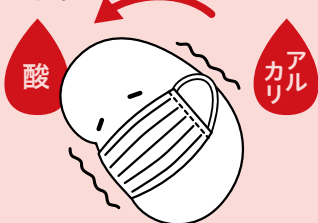
体に塩分・水分が溜まってしまい、むくみが現れます。



赤血球をつくるためのホルモンの分泌が減り、貧血になります。



血液が酸性に傾き、免疫力・抵抗力が下がります。



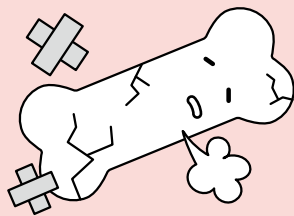
カリウムやリンが溜まることで不整脈が現れたり、動脈硬化が進んだりします。



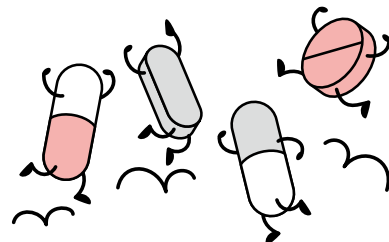
血圧をあげろー!



尿を作れなくなった腎臓に血液を送るためにレニンの分泌が増え、高血圧になります。



カルシウムの吸収が弱まり、骨が弱くなります。



薬によっては血液中の薬の濃度が高くなり、薬が効きすぎて副作用が現れます。

腎臓病は心臓や血管などに負担をかけ、  
心筋梗塞・心不全・脳卒中などのリスクを高めてしまいます。

監修

酒井 謙

東邦大学医療センター 大森病院 副院長 腎センター 主任教授

濱崎 祐子

東邦大学医療センター 大森病院 腎センター 教授

北島 幸枝

日本腎栄養代謝研究会、東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授

坂本 杏子

日本腎栄養代謝研究会、医療法人惺陽会 札幌ふしこ内科・透析クリニック 栄養部 部長



みんなで作ろう、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド

運営

一般社団法人  
ピーベック



P PeCC  
ピーベック

<https://ppecc.jp/>

制作

腎臓病情報サイト  
「じんラボ」

じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための

<https://jinlab.jp/>